

# 社会資本総合整備計画（広域連携事業） 事後評価書

平成28年3月30日

計画の名称	1 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした紀伊地域の活性化		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	三重県（奈良県、和歌山県と連携）
計画の目標			

紀伊地域において、奈良県、三重県、和歌山県の3県に跨る世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を核とした広域的な観光振興施策を実施することにより、地域の活性化を図る。

## 計画の成果目標（定量的指標）

- ・奈良県、和歌山県、三重県の観光客入込客数の増加 10,090万人（H20） → 10,700万
- ・三重県の観光入込客数の増加

※奈良県、三重県、和歌山県の観光入込客数は各県の延べ観光客数の総数

## 定量的指標の定義及び考え方

- ・三重県における観光入込客数

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
3,356万人/年	—	3,500万人/年		

## 拠点施設・重点地区

【拠点施設】世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」、三重県立熊野古道センター、紀南中核的交流施設、熊野灘臨海公園

## 関係県との連携の内容、進め方

（連携内容）奈良県、和歌山県との広域連携のシンボルとして「(仮称)吉野・高野・熊野の国」を建国、世界遺産を中心とした地域の活性化に向けて、3県が共同で広域観光PR事業を実施。  
（進め方）3県による実行委員会を設立（平成22年4月予定）し事業実施。

全体事業費	合計 (A+B+C)	876 百万円	A	847 百万円	B	0 百万円	C	29 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.3%
-------	---------------	------------	---	------------	---	----------	---	-----------	---------------------------	------

## 事後評価（中間評価）

### ○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
三重県において目標の達成状況やその要因について確認・とりまとめを行い事後評価を実施	平成28年3月
	公表の方法
	三重県ホームページで公表

### 1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	
事業概要	
整備方針	整備方針に合致する主な事業
① 拠点施設へのアクセス向上を図り周遊性を高める	(基) 道路拡幅6箇所、BP整備6箇所、歩道整備1箇所
② 基幹事業と一体となってその効果を一層高める広報活動、調査を展開	(効) 「(仮称)吉野・高野・熊野の国」三県共同事業、世界遺産熊野古道魅力発信事業
③	

(参考) 交付対象事業に関連して実施される主な事業

紀勢自動車道 (紀伊長島IC～尾鷲北IC間、紀勢大内山IC～紀伊長島IC間) (事業主体: 国土交通省、中日本高速道路(株)、事業期間: 平成24年まで)  
 熊野尾鷲道路 (尾鷲南IC～大泊IC間) (事業主体: 国土交通省)

A1 広域連携事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(一) 蓮峡線	バイパス L=2.0km	松阪市						0	
1-A2	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(主) 大台宮川線	現道拡幅 L=1.1km	大台町						0	
1-A3	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(一) 矢口浦上里線	バイパス L=0.3km	尾鷲市						0	
1-A4	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(一) 中井浦九鬼線	現道拡幅 L=0.4km	尾鷲市						0	
1-A5	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(一) 新鹿佐渡線	バイパス L=0.2km	熊野市						185	完成
1-A6	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(主) 七色峡線	バイパス L=1.3km	熊野市						145	
1-A7	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(一) 飛鳥日浦線	バイパス L=0.7km	熊野市						153	部分供用
1-A8	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(主) 熊野矢の川線	現道拡幅 L=1.4km	熊野市						160	部分供用
1-A9	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(主) 御浜北山線	現道拡幅 L=0.3km	御浜町						39	完成
1-A10	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(主) 紀宝川瀬線 (井内)	現道拡幅 L=0.5km	紀宝町						65	完成
1-A11	道路	一般	三重県	直接		都道府県道	改築	(主) 御浜紀和線	バイパス L=1.2km	御浜町						49	
1-A12	道路	一般	三重県	直接		国道	改築	(国) 368号桜峠拡幅	現道拡幅 L=0.6km	多気町						0	
1-A13	道路	一般	三重県	直接		国道	交安	(国) 309号	自歩道整備 L=1.1km	熊野市						51	部分供用
小計 (広域連携事業)												847					
合計												847					

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-B-1																	
1-B-2																	
1-B-3																	
合計												0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-B-1		
1-B-2		
1-B-3		

C 効果促進事業										全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名			事業実施期間 (年度)				
												H22	H23	H24	H25	H26
1-C-1	交流促進	一般	三重県	直接	—	—	「(仮称)吉野・高野・熊野の国」三県共同事業	広域圏統一シンボルマークの作成 や広報ツールの作成等	東紀州地域						25	完成
1-C-2	調査	一般	三重県	直接	—	—	世界遺産熊野古道魅力発信事業	効率的な広報手法の検討調査	東紀州地域						4	
1-C-3																
合計										29						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	道路事業の整備と合わせ、三重県、奈良県、和歌山県が連携して、吉野・高野・熊野の国の地域の認知度向上を図り、広域的な観光活性化を図る。	
1-C-2	道路事業の整備と合わせ、熊野古道を核とする地域の魅力発信や、熊野古道伊勢路を巡るプレスツアー等を実施し、東紀州地域の更なる集客を図る。	
1-C-3		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新鹿佐渡線、御浜北山線、紀宝川瀬線等の道路改良を行った結果、観光拠点施設へ至る道路交通の安全性、快適性が向上した。</li> <li>・「吉野・高野・熊野の国」三県共同事業で情報発信やイベント事業を実施し、紀伊地域の魅力を発信することで誘客を促進させた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	三重県における観光入込客数	最終目標値	3,500万人	目標値と実績値に差が出た要因	新鹿佐渡線、御浜北山線、紀宝川瀬線等、観光拠点施設へアクセスする路線が供用したことから、道路利用者の利便性が図られ、周遊性が高まったことにより、観光入込客の増加に寄与した。
		最終実績値	3,824万人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現 (必要に応じて記述)					

## 3. 特記事項 (今後の方針等)

・今後も世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の観光資源を生かし、更なる観光入込客数の増を目指すため、観光拠点施設に至るアクセス道路について計画的な整備を推進する。